

# 令和3年度事業計画

## 1 普及啓発事業

### (1) 賛助会員の拡大

がん征圧運動に協力していただく賛助会員(維持会員)の拡大に努める。

### (2) がん征圧月間運動

がんに関する正しい知識の普及及びがん検診事業の拡大を図るため、北海道が展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間(9・10月)」に協力する。具体的な取組みとして

ア 北海道庁ロビーにおいて「がん予防普及パネル展」を開催する。

イ 婦人団体と連携し、街頭PRを実施する。

ウ 報道機関と連携し、新聞・テレビ等メディアを通じてがん征圧月間のPRを実施する。

エ がん征圧月間ポスターを道内医療機関・市町村へ配布する。

### (3) 第52回がん予防道民大会

がんに関する正しい知識を広く道民に普及することにより、がん予防活動の実践とがん検診事業の進展を図ることを目的として、昭和40年以来、がん征圧月間の中心行事として全道各地で開催している。

開催月日 令和3年10月15日(金)

開催場所 北見市民会館

主催 北海道・北海道健康づくり財団・北見市・北海道対がん協会

### (4) 啓発セミナー

#### ア がん予防学級

一般市民を対象に、がんに関する正しい知識の普及を図るため、次によりがん予防学級を開催する。

開催回数 年間4回:札幌、旭川、釧路、帯広 各1回

開催場所 各センター会議室など

#### イ 第53回北海道家族の健康をまもる講習会

(公財)北海道結核予防会、北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、との共催により、がん及び生活習慣病に関する講習会を開催する。

開催月日 令和3年6月4日(金)

開催場所 札幌エルプラザ 大研修室

#### ウ 健康教育・講習会等

市町村・企業・町内会・患者団体等の要望に応じ、がんに関する正しい知識の普及啓発を行うための講師を派遣する。

### (5) 事業年報 2019 の発刊

令和元(平成31)年度の普及啓発事業及び検診実績をまとめ発刊する。

(6) その他情報発信

ア 機関誌「しらかば」の発刊

北海道対がん協会の活動内容を掲載した機関紙「しらかば」を発行し、市町村、賛助会員に送付するとともにホームページに掲載する。

イ ホームページの充実

ホームページを情報発信として、新しい情報の提供に努め、協会事業の周知とがんに関する正しい知識の普及を図る。

ウ メディアの活用

新聞・テレビ・ラジオ等メディア及び市町村広報等を通じてがん予防の知識普及に努める。

(7)普及啓発の推進

ア 地区組織との連携

各種団体・地区組織との連携を密にして、がんに関する正しい知識の普及及びがん検診事業の拡大を図る。

イ 企業との連携

がん征圧の趣旨に賛同する企業と連携し、がんに関する正しい知識の普及と検診の拡大を図るとともに職員向けの健康教育にも積極的に協力する。

・北海道コカ・コーラボトリング(株)との協働実施事業

事業名 乳がん啓発ピンクリボン活動「コカ・コーラ工場見学×乳がん検診ツアー」

開催月日 令和3年11月5日(金)、令和4年1月13日(木)

開催場所 北海道コカ・コーラボトリング(株)、札幌がん検診センター

ウ ボランティア団体への支援

がん征圧を目的とした活動に取り組んでいる団体を支援し、その団体の協力のもと検診の拡大を図る。

エ 健康まつり等への参加

市町村が行なう健康まつり等に協力し参加者へ啓発活動を実施する。

オ パンフレット、リーフレット、ポスター等

パンフレット、リーフレット、ポスター等を作成配布し、がんに関する正しい知識の普及及びがん検診事業の拡大を図る。

(8) 各種がん・生活習慣病対策会議

がん及び生活習慣病検(健)診事業を拡大し受診率の向上をはかるため、次のとおり会議を開催する。

ア がん及び生活習慣病対策推進会議

次年度の事業計画を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に「がん及び生活習慣病対策推進会議」を地域ごとに計4回開催する。

・開催日程及び開催場所

① 札幌:令和3年10月20日(水)…ホテルポールスター札幌

② 旭川:令和3年10月22日(金)…旭川大雪クリスタルホール

③ 帯広:令和3年10月25日(月)…帯広市保健福祉センター

④ 釧路:令和3年10月26日(火)…釧路がん検診センター

イ 日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議

北海道・東北6支部の事業推進及び運営状況等についての情報交換を行うため、ブロック会議に参加する。

開催時期 令和3年10月

開催地 福島県

ウ 各がん検診センター所在市とのがん及び生活習慣病検(健)診打ち合わせ会議

がん及び生活習慣病検(健)診を、円滑かつ効率的に実施するため、がん検診センターの所在地である札幌市、旭川市、釧路市と打ち合わせ会議を開催し、必要事項を協議する。

(9) 受診率の向上

ア 受診勧奨事業者との業務提携

① (株)ATMとの業務提携

江別市内にコールセンターを設け、市町村検診の予約受付業務を代行する(株)ATM(本社:東京)と業務提携を行い、相互に協力して新たな市町村からの検(健)診受託及び検(健)診受診率の向上を図る。

② (株)キャンサースキャンとの業務提携

市町村毎に検診未受診者の傾向等についてデータ分析し、個々に有効な文書等を発送する業務により、他都府県市町村の受診率向上対策に実績のある(株)キャンサースキャン(本社:東京)と業務提携を行い、相互に協力して健(検)診受託市町村等の受診率の向上を図る。

イ 未受診者への検診勧奨

未受診者勧奨ハガキや電話、チラシ等を活用し未受診者への働きかけを積極的に進める。

ウ 日曜検診の実施

3検診センターで年間17日程度、日曜検診を実施し、平日に受診できない人の受診拡大を図る。

(10) 行政との連携強化

受診率の向上に向けて、北海道をはじめ市町村と連携強化し、効率的に検診事業を行う。

(11) センター検診の充実

ア 各がん検診センター利用のPR

札幌市・旭川市・釧路市内の町内会へ積極的に検診をPRし、受診拡大を図る。

イ 人間ドックの受診拡大

標準コースにCT等を追加したプレミアムコースの広報を拡充し、受診勧奨を積極的に行う。

ウ 検診受付時間の拡大

健康診査・胃内視鏡検査等を午後に増設し、受診拡大を図る。

エ 送迎バス利用の拡大

近隣の市町村を乗合して運行し、受診機会の拡大を図る。

(12) 検診設備(機器)の充実

- ア 胃肺併用検診車(3台)
- イ 内視鏡システム(1式)
- ウ 乳房X線撮影装置(2式)
- エ 乳房超音波診断装置(2台)

(13) その他

ア 北海道がん対策基金

がん患者やその家族を社会全体で支え合うことを目的に設立された「北海道がん対策基金」の事務局として基金の管理・運営を行う。

イ 札幌市がん対策普及啓発キャンペーン実行委員会

札幌市民、市内事業所を対象としたがんに関する正しい知識の普及、検診受診率の向上、がん罹患者の就労環境の整備などの対策に取り組むプロジェクトに参加するとともに、事務局として事業実施や進捗の管理等を行う。

ウ がん電話相談事業

がんに対する不安・悩み・疑問など関心を抱く人々からの相談に応じるとともに、がんに関する正しい知識の普及に努める。

エ 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会及び北海道禁煙週間実行委員会に参加し、関連団体と禁煙運動の推進について協議するほか、WHOが提唱する世界禁煙デーを中心とする諸行事に参加する。

## 2 調査研究事業

(1) 学会研修

日本消化器がん検診学会北海道支部の主催する医師・放射線技師・保健師等の合同学会に参加・協力する。また、職員の資質の向上をはかるため、各種学会・研究会に参加する。

(2) 厚生労働省「がん対策のための戦略研究事業」

「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」の研究団体として引き続き参加する。

(3) 「北海道広域でのHPV自己採取検査に関する研究」

(株)ジェネティックラボを共同研究者として、自己採取法によるHPV-DNA検査の有効性の検証を行う。

(4) 日本医療研究機構(AMED)「革新的がん医療実用化研究事業」

「血中マイクロRNAがんマーカーの検診コホートにおける性能検証研究」の研究団体として参加する。

(5) 「間質性肺炎を検出するAIソフトウェアによる健診読影試験」

札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座が行う研究に協力する。